



# 東日本大震災から 10年間の取組

【鳴瀬川・北上川・旧北上川】

Memory of 2011-2021.

# 東日本大震災から10年間の取組

【鳴瀬川・北上川・旧北上川】

## 目次

東日本大震災の概要	03
鳴瀬川・北上川内陸部の堤防復旧	05
鳴瀬川 復旧・復興の様子	07
北上川 復旧・復興の様子	09
旧北上川 復旧・復興の様子	11
石巻地区かわまちづくり	13
旧北上川河口部の整備状況	
右岸 [南浜地区]	15
右岸 [門脇地区]	16

右岸 [中央地区]	17
右岸 [住吉地区]	19
右岸 [蛇田地区]	20
左岸 [湊地区]	21
左岸 [不動町・八幡地区]	22
左岸 [井内・藤巻地区]	23
左岸 [大瓜地区・南境地区]	24
石井水門完成・堤防締切作業	25
整備後のにぎわい	26



# 地震発生

**3月11日(金)14時46分 巨大地震発生。  
マグニチュード9.0、最大震度7の激震だった。**

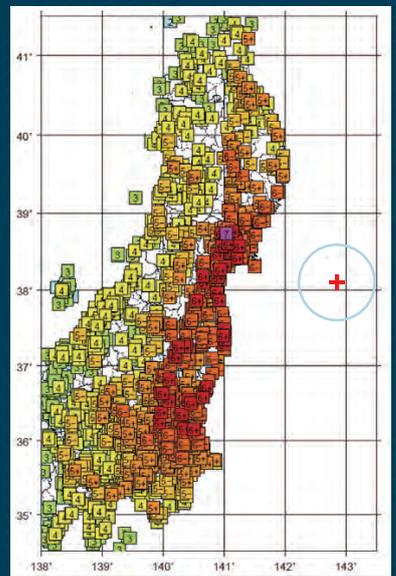
宮城県の栗原市で震度7、宮城・福島・茨城・栃木県で震度6強という地震が、東北地方を中心に東日本を襲った。地震の規模はマグニチュード9.0で、国内の観測史上最大規模だった。

東日本大震災は、本震を含め4つの大規模地震が断続して発生した連動型。本震後40分の間にマグニチュード7.0以上の地震が三陸沖から茨城県沖にかけて発生した。

余震も多発し、1ヵ月間でマグニチュード5.0以上の余震が400回以上発生。震源域は、岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmの広範囲に及んだ。



石巻市中央地区の被災状況



東日本の震度分布図

## ■ 地震概要

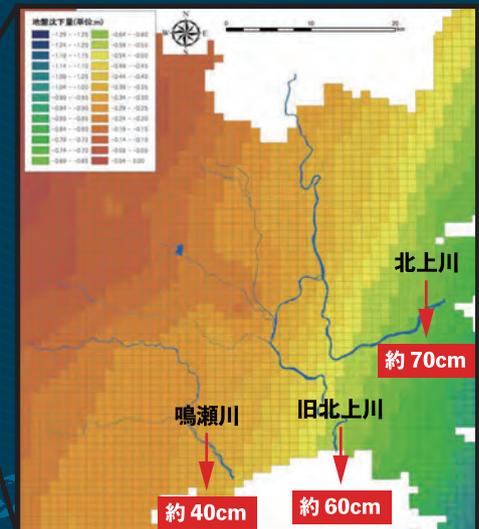
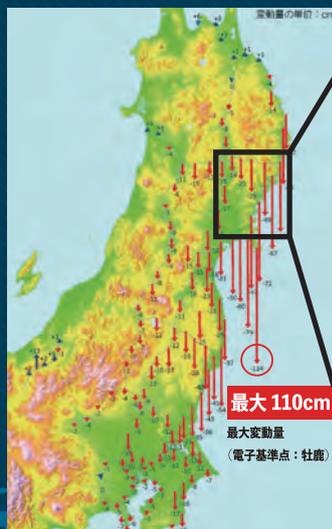
発生日時	平成23年3月11日(金) 14時46分
震源	三陸沖(牡鹿半島の東南東130km付近) 深さ24km
規模	マグニチュード9.0
地震名	平成23年(2011年) 東北地方太平洋沖地震
主な震度	震度7 : 宮城県北部 震度6強 : 宮城県南部・中部、福島県中通り・浜通り、茨城県北部・南部、栃木県北部・南部 震度6弱 : 岩手県沿岸南部・内陸北部・内陸南部、福島県会津、群馬県南部、埼玉県南部、千葉県北西部

## 強大な地殻変動による地盤沈下。

東北地方太平洋沖地震では、大規模な地殻変動も発生した。広範囲にわたる地盤沈下により、陸域では最大で110cmの沈下(牡鹿地点)が記録された。また、旧北上川河口部では、震災前に比べ約60cm地盤が沈下した。



石巻市浜地区の被災の様子



# 津波襲来

**東日本太平洋沿岸 巨大津波襲来。  
観測史上最大の津波が沿岸地域を襲った。**

東北地方を激震が襲った直後、北海道・東北・関東地方太平洋沿岸に巨大津波が押し寄せた。

沿岸各地に襲来した津波は、最大10m以上に達し、未曾有の被害をもたらした。その後の調査で、海岸の地形や湾の形状などによって津波の高さは異なり、被害の状況も違っている。

斜面を遡上した高さでは、岩手県宮古市で39m以上を記録。これは1896年の明治三陸地震の際、岩手県大船渡市で確認された38.2mを上回る、観測史上最大の規模となった。



石巻市の中心市街地が津波によって浸水（穀町付近）

## ■ 津波概要

出典：気象庁

### 【大津波警報】

北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、北海道太平洋沿岸西部、青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、伊豆諸島 [11日 15:33現在]

### 【津波の高さ】（津波観測点付近の痕跡等から推定した高さ）

- 八戸（青森県）6.2m
- 大船渡（岩手県）11.8m
- 久慈港（岩手県）8.6m
- 石巻市鮎川（宮城県）7.7m
- 宮古（岩手県）7.3m
- 仙台港（宮城県）7.2m
- 釜石（岩手県）9.3m
- 相馬（福島県）8.9m



宮城県東部浸水エリア

## 旧北上川河口部の津波被害も甚大に。

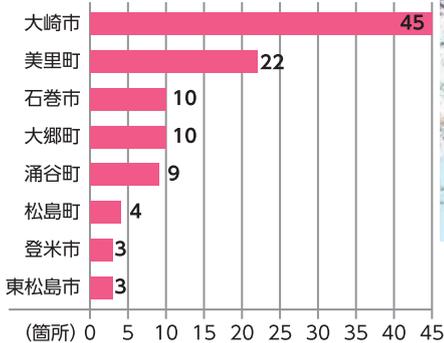
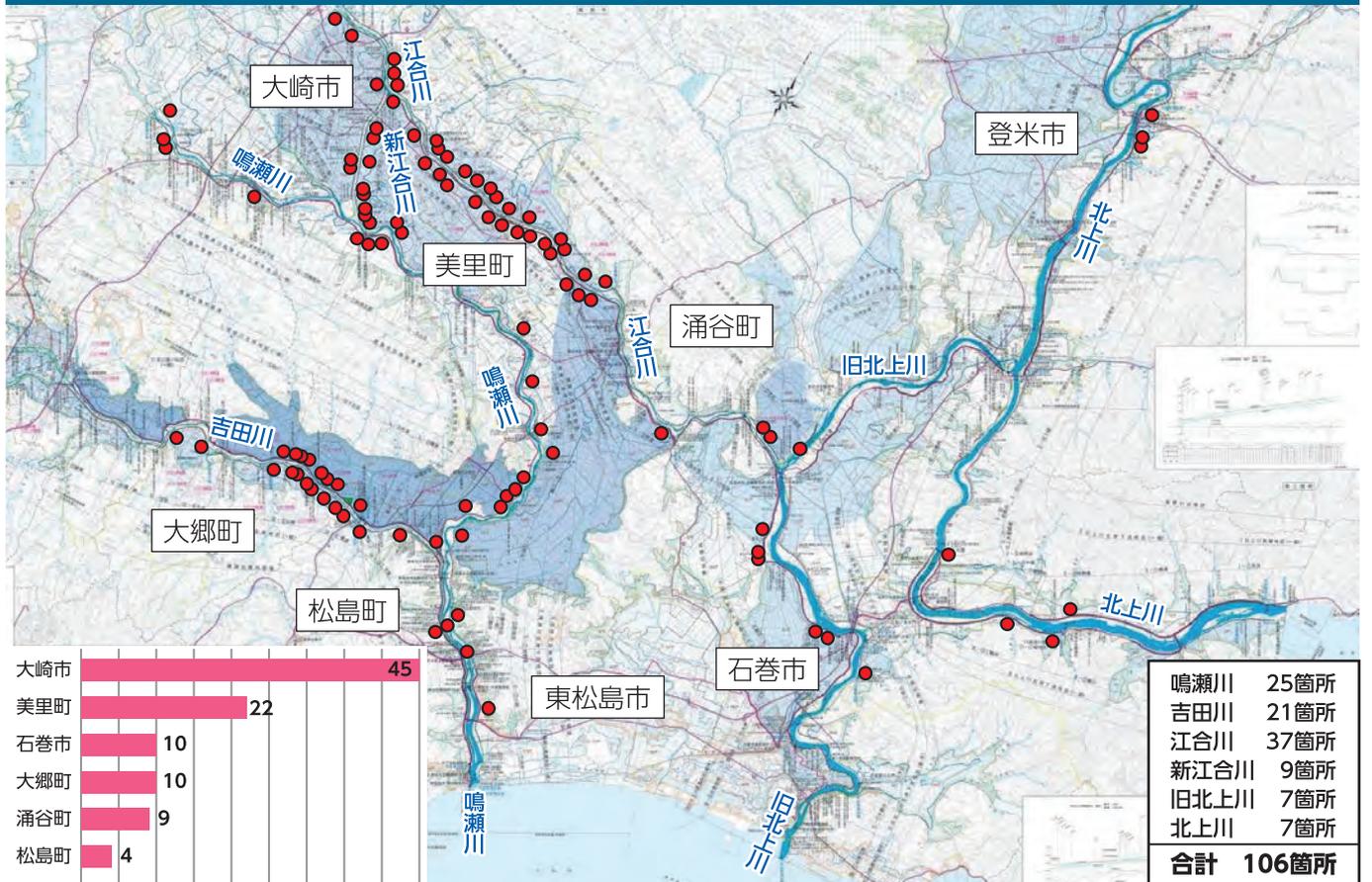
地震以前の旧北上川河口部は無堤部だったことから、河口部に位置する石巻市の市街地は被災自治体の中でももっとも甚大な被害を受けた。石巻市の面積の13.2%に相当する7,300haが津波で浸水し、市の中心部のほとんどが浸水。旧北上川河口部では、T.P.+8.4mに達する津波痕跡が確認されている。



# 鳴瀬川・北上川内陸部の堤防復旧

東日本大震災の強い揺れにより、内陸部では河川堤防の亀裂や液状化による沈下などの被害が発生、鳴瀬川・北上川水系の河川管理施設は861箇所で大被害を受け、災害復旧工事を行いました。

内陸部災害復旧箇所位置図



●：全被災箇所861箇所のうち、内陸部の災害採択箇所

復旧までの流れ

被災

応急復旧

緊急復旧

本復旧

## 亀裂被災の場合（切り返しによる復旧）

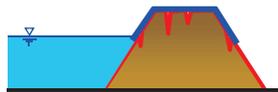
地震発生

[H23.3.11]  
亀裂発生



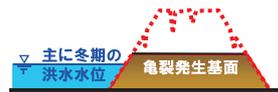
応急復旧

亀裂箇所土砂充填  
ブルーシート養生



本復旧①

亀裂発生基面まで掘削



本復旧②

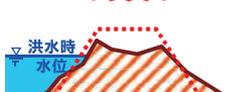
地震発生前の形状に盛土復旧



## 液状化被災の場合（液状化対策実施後の復旧）

地震発生

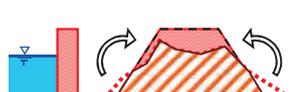
[H23.3.11]  
堤防が大きく変形



堤防下部で液状化が発生

緊急復旧

仮堤防設置  
変形を  
応急的に復旧



本復旧①

堤防を撤去し  
液状化層を改良



本復旧②

地震発生前の  
形状に盛土復旧



■ 鳴瀬川 ■ …………… 下中目(大崎市)

被災直後  
(H23.3)



復旧完了後



■ 江合川 ■ …………… 江合橋下流(大崎市)

被災直後  
(H23.3)



復旧完了後



## 北上川・鳴瀬川水系内陸部災害復旧事業 完成式

北上川・鳴瀬川水系の河川管理施設は861箇所で被災し、災害復旧事業を進めてきました。このうち内陸で大掛かりな復旧が必要な106箇所全ての工事が平成26年3月に完成し、地域住民の方々が安心・安全な暮らしができる環境が整うことになり、完成式を執り行いました。

- 日時 平成26年 3月 9日 (日)
- 場所 大崎市三本木総合庁舎 ふれあいホール
- 参加者 約130名
- 主催 石巻市、登米市、東松島市、大崎市、  
松島町、大郷町、涌谷町、美里町、  
北上川下流河川事務所



内陸部復旧事業完成式の様子

# 鳴瀬川

地域の安全を支えるインフラが完成、  
地域の復旧・復興へのはずみに！

■鳴瀬川河口部の堤防は、震災から6年で完成を迎えることとなりました。

■このほか、地域復興の象徴的な仙石線の全線復旧や三陸自動車道の「石巻河南IC」までの4車線化や復興・災害公営住宅の入居開始など、地域の暮らしを支える各種基盤整備も着実に進んでいます

■これらが、地域の復旧・復興へのはずみとなり、地域の特色を生かしたまちづくりの更なる進展が期待されます。

## 震災後の 鳴瀬川河口

(H23.04.05撮影)



## 地域の 交通基盤 の整備



平成27年10月 三陸自動車道鳴瀬奥松島IC～石巻女川IC間の4車線化が完了



平成27年5月末、被災した「東名駅」「野蒜駅」を高台に移転し仙石線が全線開通



東松島市提供

平成25年3月、被災した松島基地に町のシンボル「ブルーインパルス」が帰還



東松島市提供

震災で亡くなった子ども達のために、3月11日～5月5日まで掲揚する「青い鯉のぼり」

## 地域産業 の復興



80年以上の歴史がある東松島の名産「海苔」の養殖作業が復活



民間の支援団体の協力を得て津波が押し寄せた水田を除塩し豊かに実った稲を収穫

## 被災者の 住宅の 確保



H26年3月末、東松島市内初の災害公営住宅となる市営小松南住宅の鍵引き渡式が行われた

## 復旧・復興の様子



H29.8

▷ 野蒜水門完成



H29.2

【中下地先】▷ 堤防完成



H28.4

▷ 浜市排水樋門完成



H29.2

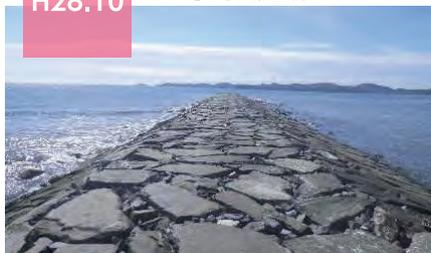
【下沼地先】▷ 堤防完成

H28.10

▷ 導流堤完成

H29.2

【浜市地先】▷ 護岸完成



## 鳴瀬川河口部復旧・復興事業完成式

- 日時 平成29年 2月 25日 (土)
- 会場 宮城県東松島市 小野市民センター 野蒜水門

### 鳴瀬川河口部復旧・復興事業

- 堤防整備延長：約5.2km  
(左岸 約2.5km、右岸 約2.7km)
- 背割堤延長：約1.4km
- 全体延長：約6.6km
- 事業期間 平成24年2月～  
平成29年2月

完成式の際に使用された記念碑



セレモニーの様子



末松信介 国土交通副大臣 あいさつ



記念レンガの設置

# 北上川

人と自然が共生する地域の復活に向け、北上川河口部の整備が完了

■人々と自然が共生していた日本の原風景たるヨシ原やのどかな田園風景が広がる北上川河口部の堤防整備は、震災から7年で事業が完了しました。

■北上川河口部の復旧は、津波で壊滅的な被害を受け海水に覆われていた石巻市長面地区の復旧とともに進んできました。長面地区は、河川堤防、海岸堤防の復旧と農地復旧により5年で営農が再開しました。

■また、北上川周辺では、トマト栽培等の工場、集落施設など、地域産業も復活してきました。さらに、自然体験できる拠点の整備が進んでいます。

■地盤沈下により約半分の面積が消失したヨシ原が少しずつ回復し始めたことや、震災の環境変化でいなくなった動植物も戻り始めるなど、東日本大震災のインパクトから自然環境も一歩ずつ回復してきています。

## 自然環境の回復

ヨシ原が再生しつつあり子どもたちによるヨシ刈り体験も実施している



H24.11撮影 北上川左岸3.6k



R1.10撮影 北上川左岸3.6k

## 震災後の北上川河口

(H23.4.5撮影)



北上川

## 長面地区の営農再開



震災によって陸地を失った「長面」地区で5年ぶりに営農再開



## 新たなプロジェクトの始動



次世代施設園芸拠点として木質バイオマスと地下水を活用しトマト、パプリカ等を栽培



## 復旧・復興の様子



H29.1

【針岡地区】▷ 堤防完成



H29.10

【月浜第二水門】▷ 本体完成



現在の  
北上川河口  
(R3.3.8 撮影)

H29.1

【長面地区】▷ 堤防完成



H29.10

【十三浜地区】▷ 堤防完成



## 北上川河口部復旧・復興事業完成式

- 日時 平成29年 2月 25日 (土)
- 会場 宮城県石巻市 河北総合センター

### 北上川河口部復旧・復興事業

- 堤防整備延長：約17.9km
  - ・左岸 約11.4km
  - ・右岸 約6.5km
- 事業期間 平成24年3月～平成29年2月

完成式の際に使用された記念碑



セレモニーの様子



末松信介 国土交通副大臣 あいさつ



復旧事業完成状況の確認を行う

# 旧北上川

安全・安心、そして  
地域の想いと共に  
市街地復興を目指して  
にぎわいのある  
水辺を創出

■津波など水災害から地域の方々そして市街地を守る重要な防御線として、旧北上川の堤防整備を進めました。

■市街地の旧北上川沿いには堤防がほとんど無かったため、新たに用地を取得し用地が確保できたところから堤防整備を進めました。

■古くから石巻市街地は川湊として発展した成り立ちもあり、旧北上川と市民が深く繋がっています。堤防整備後も川と人との繋がりを大切にしながら、整備にあたって水辺を活かした街として発展するよう「石巻地区かわまちづくり」を石巻市と一緒に計画し、堤防整備を進めてきました。

■計画づくりにあたっては、行政や学識者地域の方々互いに意見を交わし、地域の方々の使い勝手のよい水辺空間そして街の発展を描きながら検討を進めました。

## 震災後の石巻市内

(H23.3.12撮影)



## 地域と連携した河川整備

約140回以上の説明会を開催  
延べ1,800名以上の方に説明



### 堤防の考え方、堤防計画の説明 (平成23年11月～12月)

- 津波・高潮・洪水等を考慮して計画する (石巻市で約1,900名)
- 浸水対策についてのアンケート調査 (回収総数約1,100枚)
- 堤防計画のための測量着手の報告 (旧北上川沿川で約1,750名)

### 堤防計画(案)の説明

(平成24年1月～平成24年11月 約140回延べ1,800名以上)

計画中の堤防の設計について各町内会(各地区)単位で説明して了解をいただく

- 地区別の高さや敷幅
- 堤防の位置、横断形状
- 側道を含めた堤防計画

## 堤防計画への合意

### 護岸矢板工事の着手 (平成25年1月～)



平成25年1月27日 旧北上川河口部護岸復旧事業の着工式

## 街のにぎわいの復興

祭りでは「かわ」と「まち」が繋がりにぎわっている



震災を受けたが石巻川開き祭りは中止せず平成27年からほぼ震災前の形を取り戻している。

●川開き祭り >>> 大正5年からはじまった石巻川開き祭りは平成28年で100年目となり、たくさんの人の思いがまちを育んでいる。

# 復旧・復興の様子



R1.12 【左岸湊地区】  
▷ 堤防整備状況



H29.11 【左岸南境地区】  
▷ 堤防完成



R1.12 【左岸不動町地区】  
▷ 堤防整備状況



H29.1 石ノ森萬画館  
【右岸中央地区】  
▷ 水辺のテラス完了

現在の  
旧北上川河口  
(R3.3.8 撮影)

## 石巻市と連携した「石巻地区かわまちづくり」の推進

石巻市街地を津波・高潮・洪水から守るため、石巻市の新たな”まちづくり”と連携して堤防の整備を進めました。

### いしのまき水辺の緑のプロムナード計画

いしのまき水辺の緑のプロムナード計画 全体図 (H25年3月)

**ルートイメージ**

- 安全に配慮し、持石による自然な水際や転落防止壁を設置。転落事故用の浮環を等間隔で設置。
- 歩きやすい舗装等
- 現在位置や地域の歴史、文化を学ぶサイン等
- 夜間でも通行可能なように一部に照明を設置
- まちと川との結びつきを強めるとともに、避難にも配慮した階段
- 部分的に追加掘土を行い、休憩できるベンチや緑を配置

●水辺の利活用の推進 (水辺を活かした市街地復興)  
【市事業】ベンチ、植栽整備、案内サイン、照明設備 等

### 堤防整備・石巻地区かわまちづくり

国交省

中央地区デザイン検討案

住吉神社前のデザイン検討案

石巻市と国が連携して水辺整備を推進

- 堤防・護岸等のデザイン、拠点地区の整備の方向性等を地域の意見を聴きながら検討
- 地域の意見を取り入れた計画検討

【国事業】築堤、護岸、石積み護岸、自然護岸、階段工、捨石(護岸修景)、転落防止策 等

# 石巻地区かわまちづくり

地域とともに…

子供たちが  
誇れるふるさとのために

かわみなと

古くから川湊として旧北上川を中心に栄えてきた石巻市は、東日本大震災で壊滅的な被害を受けました。

石巻市街地を津波・高潮・洪水の被害から守るために整備する旧北上川の堤防と合わせて、市民の方々の集いの場、憩いの場となる水辺空間の整備を図ることを目的に「かわまちづくり」を実施しました。



<ポイント①>  
旧北上川の歴史、文化、社会的特性などを踏まえた検討している。

<ポイント②>  
地元の方々の意見を大切に“丁寧な地域対応”を心掛けている。



VR（バーチャルリアリティ）を用いることにより、より現実的な整備イメージを実現することが有効と考えられる。

新たな水辺空間利用の可能性を把握するため、社会実験として、カフェブースや物販ブースを出店した“みずべマルシェin北上川”を開催して、今後の利活用における課題点などの抽出を行った。

<ポイント③>  
VR（バーチャルリアリティ）を活用して、“誰にでもわかりやすい”整備イメージを今後推進する。

<ポイント④>  
地元で多彩な活動をしているの方々を中心とした“ミズベリング石巻”を立ち上げて、新たな水辺空間の利活用を実践している。

にぎわいの  
ある空間を  
石巻に

新たな堤防整備にあたり、まちづくり・景観配慮の検討の場として「旧北上川河口かわまちづくり検討会」を設置し、景観の基本方針や堤防・護岸等のデザイン、拠点地区の整備の方向性等を検討しました。あわせてパブリックコメントやワークショップになどにより、地域の方々から意見を伺い、人々が憩える水辺空間の整備を目指しました。

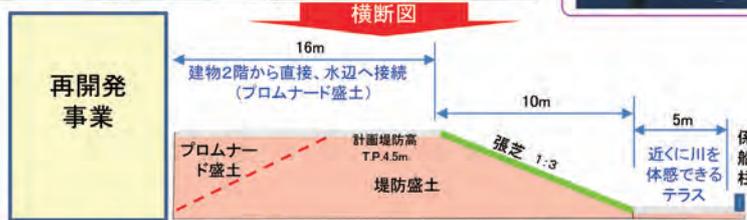
旧北上川河口かわまちづくり検討会 等	地域の方々のご意見を伺う場	水辺空間の利活用に 関する取組み
<p><b>旧北上川河口かわまちづくり検討会</b> 平成25年7月～令和3年1月 計8回開催 ○景観の基本方針、デザインの方向性および各検討結果等を審議する</p> <p><b>ワーキング</b> 平成25年8月～平成27年6月 計7回開催 ○水辺空間に関する技術的検討を行う</p> <p><b>調整会議・特別ワーキング</b> 平成27年12月～令和2年11月 計5回開催 ○水辺空間の整備内容について、「検討会」他での検討・協議・審議結果を踏まえ、各関係機関の実務担当者が、デザイン検討、関係区間調整、事業調整等を行う</p> <p><b>地区別ワーキング</b> 平成27年8月～令和3年2月 計61回開催 ○水辺空間の整備内容について、「検討会」他での検討・協議・審議結果を踏まえ、各関係機関の実務担当者が、デザイン検討、関係区間調整、事業調整等を行う</p> <p>第1回検討会 (H25.7.22)</p> <p>第1回ワーキング (H25.8.11)</p>	<p><b>パブリックコメント</b> 平成25年11月21日～12月20日</p> <p><b>ワークショップ</b> ◇住吉小学校わくしゅつぷ 平成25年11月25日 ◇地域ワークショップ 第1回：平成25年12月22日 第2回：平成26年1月18日</p> <p><b>市民報告会</b> 平成26年6月29日 ○検討開始から1年経過し、その中間成果を市民の皆様へ報告するため開催</p> <p><b>市民部会</b> 平成26年度～平成30年度 ○地域や河川を利用する方々の意見を整備に反映させるために開催 ○沿線を6地区に分け、それぞれ意見交換会を実施</p> <p>◇南浜・門脇2,3丁目地区『船だまりの会』計3回開催</p> <p>◇中央・門脇1丁目地区『中央門脇川と未来の会』計3回開催</p> <p>◇住吉・大橋地区『住吉大橋開拓チルドレン』計4回開催</p> <p>◇川口・湊地区『かわ湊の会』計4回開催</p> <p>◇不動・八幡地区『私、船（わたしふね）の会』計3回開催</p> <p>◇井内・藤巻地区『かっぱの会』計4回開催</p>	<p><b>ミズベリング石巻</b> 平成27年度～ ○旧北上川を中心に新たな水辺空間を利用した取組みを行うためのプロジェクト</p> <p><b>みずべマルシェin北上川</b> 平成27年度～ ○ミズベリングプロジェクトの社会実験として、河川管理施設を活用した様々な活動を実施</p> <p><b>かわまちウォーク・散歩</b> 平成27年度～ ○工事箇所等を地元の方々と一緒にウォーキングや散歩を行い、整備状況等を説明</p> <p><b>旧北上川堤防利活用協議会</b> 平成30年度～ ○都市・地域再生等利用区域」の指定を目指し、新しく創出される水辺空間を活用していくための社会実験を実施中</p> <p><b>その他</b> ○関係者間での整備イメージの共有、わかりやすい広報等のために、模型やVR（バーチャルリアリティ）を活用 ○現場に赴きデザイン監理を行いながら施工</p>

## 中央地区 堤防一体空間 の整備

旧北上川右岸「中央地区」は、石巻市の「水辺の緑のプロムナード事業」「かわまち交流拠点事業」と連携した堤防一体空間として整備しました。

背後の商業施設「いしのまき元気いちば」、「かわまち立体駐車場」、「交通広場」、観光案内や地域活動の拠点となる「石巻市かわまち交流センター（かわべい）」などと一体で河川空間を活用しやすいように、緩やかな斜面と腰掛けやすい石積み、水際の照明など、賑わい・憩いを生む水辺空間の創出に向け整備しました。

### 旧北上川右岸中央地区 整備イメージ



水際の散歩みちとなるテラス。照明が入ったボラード(支柱)を設置し、夜の景観を演出



堤防に隣接する商業施設や市民交流施設の2階から直接、水辺へ接続可能となり利活用が推進される



堤防に隣接する商業施設や市民交流施設の2階から直接、水辺へ接続可能となり利活用が推進される

## 堤防利活用 の推進

完成した堤防一体空間を散歩等で利用されている方が多く見られます。

また石巻川開き祭りの花火大会の観覧場をはじめとした各種イベントでも利活用されており、今後さらなる賑わいが期待されます。



【水辺の利活用】



テラスは中瀬での花火大会の絶好の観覧席(H30.8.1)



いしのまき復興マラソンウォーキングの部のコースとして利用(H30.6.23)



水辺で落語を開催(H29.6.17)

## 右岸 南浜地区

河川を航行する船舶の「舟だまり」と「石巻南浜津波復興祈念公園」がある旧北上川河口に位置する南浜地区は、市民部会の意見を踏まえ景観に配慮した堤防を整備した。



整備状況 (平成30年11月ドローン撮影)



整備後のイメージ (VR動画より)

### 工事着手前

(令和元年6月)



南浜地区

### 護岸・テラスの施工

(令和3年2月)



## 右岸 門脇地区

日和山と旧北上川に挟まれた門脇地区は、親水性を高めるため緩やかな傾斜の堤防と、河川沿いの遊歩道を整備した。



整備状況 (平成30年11月ドローン撮影)



整備後のイメージ (VR動画より)

### 堤防施工中

(平成31年2月)



門脇地区

### 堤防完成

(令和2年9月)



## 右岸 中央地区

中央地区は、川湊石巻の賑わい拠点として、「いしのまき元気いちば」や「石巻かわまち交流センター」などの施設と水辺利活用を考慮した「堤防一体空間」として整備した。



整備状況 (平成30年11月ドローン撮影)



整備後のイメージ (VR動画より)

### 地盤改良の 施工中

(平成29年10月)



中央地区

### プロムナード 盛土の様子

(令和元年12月)



# 旧北上川河口部（震災前～震災後～現在）

## 震災前

平成21年



## 震災後

平成23年  
3月11日17時頃



## 現在

令和3年



## 右岸 住吉地区

住吉神社や雄島・太鼓橋などの歴史的資産との関係性を考慮に入れ、既存の石積み護岸の活用や堤内空間・テラスなどを配置し、ゆとりある水辺空間を創出した。



整備状況 (平成30年11月ドローン撮影)



整備後のイメージ (VR動画より)

### 堤防施工前

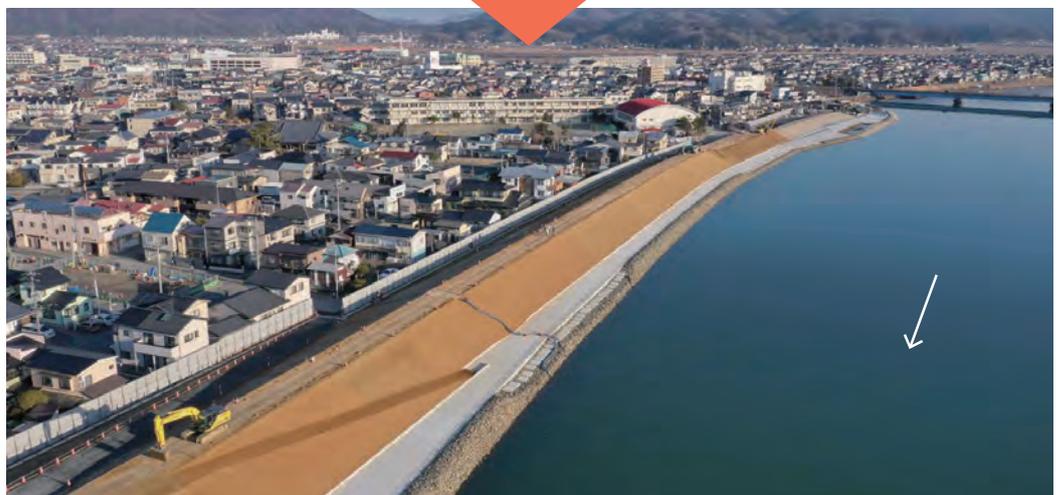
(平成30年4月)



住吉地区

### 堤防施工中

(令和3年2月)



## 右岸 蛇田地区

蛇田地区は暫定堤防のかさ上げとあわせて、日本最古のレンガ造り西洋式閘門「石井閘門」の保存・活用を図りながら、北上運河ならびに蛇田地区側への洪水流入を防止するため川側に「石井水門」を新設した。



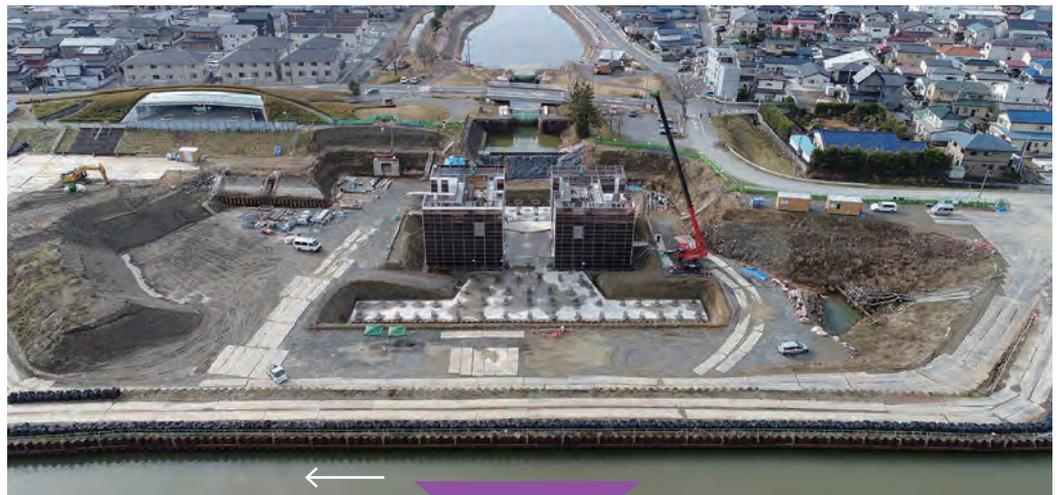
二重締切の設置 (平成28年9月撮影)



石井水門と周辺整備後のイメージ

水門本体  
(翼壁工)  
の  
施工中

(平成30年1月)



蛇田地区

石井水門  
完成

(令和2年10月)



## 左岸 湊地区

都市生活の身近なオアシスとして、水辺と親しむことができるよう、緩やかな傾斜の堤防や水辺へのアクセスを容易にする川沿いの遊歩道などを設けた。



整備状況 (平成30年11月ドローン撮影)



整備後のイメージ (VR動画より)

### 堤防施工中

(平成29年9月)



湊地区

### 堤防完成

(令和2年9月)



## 左岸 不動町・八幡地区

居住区域を浸水被害から守ると同時に、親水性を阻害しないよう緩やかな傾斜の堤防を新設するとともに、テラスや遊歩道などの施設も新たに設けた。



整備状況 (平成30年11月ドローン撮影)



整備後のイメージ (VR動画より)

### 堤防施工中

(平成29年9月)



不動町・八幡地区

### 堤防完成

(令和2年9月)



## 左岸 井内・藤巻地区

古くから井内石の産地として栄えた地域の歴史を踏まえ、既存の石積み護岸風景を活かした堤防整備を行った。



整備状況 (平成30年11月ドローン撮影)



整備後のイメージ (VR動画より)

### 整備着手前

(平成29年9月)



井内・藤巻地区

### 堤防施工中

(令和3年2月)



## 左岸 大瓜地区・南境地区

大瓜地区、南境地区は堤防の高さや幅が不足する暫定堤防区間であったことから、一連の安全性向上のため堤防整備を実施した。



整備状況 (平成30年11月ドローン撮影)



整備後のイメージ (VR動画より)

### 整備着手前

(平成29年9月)



大瓜地区・南境地区

### 堤防完成

(令和2年9月)



# 石井水門完成

平成27年から整備を進めてきた石井水門が完成しました。

完成式典では来賓の石巻市長や石井閘門保全対策検討委員会の委員に祝辞を賜ったほか、地元の小学生と一緒にテープカットや記念植樹、カヌーによる通船等で完成を祝いました。

- 日時 令和2年10月31日（土）
- 会場 石巻市水押三丁目 石井水門付近



テープカットの様子



國友河川部長あいさつ



石井水門をカヌーで通過し旧北上川へ

## 堤防締切作業

令和3年3月

旧北上川河口部の堤防が一連で繋がる盛土工事の締めくくりとして、総括監督員（北上川下流河川事務所長）の号令により締め固め作業が行われました。これにより、洪水、高潮、津波から市街地を守り、地域の皆様の安全安心な暮らしの向上、新たに整備された水辺空間を活用した憩いや賑わいの創出などの効果が期待されます。

※令和3年3月旧北上川の締切式を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止されました。



北上川下流河川事務所長による締め固め作業の号令



締め固め作業の様子



締め固め作業の様子を見守る北上川下流河川事務所長

# 整備後のにぎわい

堤防一体型空間では  
様々なイベントが行われ、  
水辺は多くの笑顔で  
あふれています。

かわまち交流センターの夜景 (令和元年9月15日)



水辺で乾杯【ミスベリング石巻】 (令和元年7月5日)



どんと祭 (令和3年1月7日)



トリコローレ音楽祭 (令和元年8月25日)



かわべでシアター (令和2年9月19日)



石巻川開き祭り (平成30年8月1日)



かわべでライブ (令和2年9月21日・22日)



石巻復興マラソンウォーキングの部 (平成30年6月23日)



白和大桥



国土交通省東北地方整備局 北上川下流河川事務所

〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新下沼80 TEL 0225 (95) 0194 [代表]

<http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/>

